

資料 No.1-2

日本建築学会 環境工学委員会建築設備運営委員会 2010 年度第 5 回 議事録

- A. 日 時：2011 年 2 月 19 日（土） 13 時 00 分～
B. 於 所：三重大学（工学部中会議室）
C. 出席者：宇田川光弘（主査）、柳井崇（幹事）、羽山広文（幹事）、
委員：赤司泰義、(秋元孝之)、石川幸雄、石野久彌、(猪岡達夫)、(川瀬貴晴)、郡公子、
小林陽一、(坂上恭助)、(相良和伸)、(佐倉勇)、(佐野武仁)、
(高井啓明)、(高草智)、(竹倉雅夫)、(寺野真明)、(長井達夫)、(中島康孝)、(中野淳太)、
(永峰章)、二宮秀與（代理：中山哲士）、(野部達夫)、(本間睦朗)、吉田治典

D. 議 題：

- | | |
|--|-------------|
| 1. 式次第 | 資料 No.5-1 |
| 2. 前回議事録 | 資料 No.5-2 |
| 3. 環境工学本委員会の報告 | 資料 No.5-3 |
| 4. 委員会の報告 | |
| 1) 環境設備に関する学会規準 (AIJES) における性能
レベル検討小委員会 (石川主査) | 資料 No.5-4-1 |
| 2) 環境選択型空調設計 (野部主査) | 資料 No.5-4-2 |
| 3) 気象データ (二宮主査) | 資料 No.5-4-3 |
| 4) 次世代排水システム (坂上主査) | 資料 No.5-4-4 |
| 5) 環境建築設計法 (羽山主査) | 資料 No.5-4-5 |
| 6) 「建築一体化設備のデザイン」出版小委員会 (石野主査) | 資料 |
| 5. 2010 年度第 7 回建築設備シンポジウムについて | 資料 No.5-5 |
| 6. 2011 年度建築設備運営委員会委員 | 資料 No.5-6 |
| 7. その他 | |
| 8. 次回予定 | |

E. 議事

1. 前回議事録が紹介され、了承された。
2. 環境工学本委員会の報告 (2010/11/18 開催)
 - ・ オーガナイズドセッション：環境建築システムの性能評価 締切：2011/2/25
 - ・ 研究協議会 「これからの大都市の安全・安心と環境工学の役割」で企画が進められている。
 - ・ 竹中育英会建築研究助成金：環境工学から 3 件採択 近藤順也 (名古屋大学)、朴 玫宣 (九州大学)、李孝振 (東京大学)
 - ・ 2011 年度開始「若手奨励」特別研究委員会に環境工学から 2 件採択された。予算は年間 100 万円、2 年間 200 万円以内であるが、2 年間 100 万円で申請されている。今後は注意が必要。
 - 次世代型温熱快適域研究委員会 高田暁先生 (神戸大学) 他 13 名
 - 気候変動対応型次世代環境建築特別研究委員会 曾我和弘先生 (鹿児島大学) 他 5 名
 - ・ 2011 年度大会研究協議会：建築設備関連では「災害時・非常時のエネルギー対策」の話題が講演される予定。

- ・ 2011 年度大会研究懇談会：建築設備分野の最前線に関し、建築設備分野から郡先生（宇都宮大学）を推薦する。
 - ・ 委員会の委員が学会員でない場合、理由書提出が求められる。非会員ならば入会を勧める。2011 年度小委員会委員名簿を作成する際には十分配慮すること。
 - ・ シンポジウムの企画案は講師が未定でも早い時期に提案する。
 - ・ メーリングリストでは、国際会議の開催案内も掲載する。
 - ・ 2011 年大会のプログラム編成会議は 2011 年 4 月 19 日（火）午後 to 実施する。各小委員会から多数出席頂きたい。出席者の回答期日 3/9
 - ・ 論文集委員会委員に長井先生（東京理科大学）を推薦する。
 - ・ 2012 年度大会は東海支部 名古屋大学で開催 9/12-9/14 される。
 - ・ インターンシップ検討委員会の報告書案を作成した。各運営委員会内で修正意見を提出してほしい（期日：3/15）。
 - ・ 2010 年度予算が残っている小委員会は、有効・適切に支出すること。
3. 小委員会報告
- 0) 建築設備運営委員会（宇田川主査） 資料 No.5-4-0
- ・ 2011 年度の活動成果報告が紹介された。
- 1) 環境設備に関する学会規準（AIJES）における性能レベル検討（中島委員）資料 No.5-4-1
- ・ 2011 年度の活動成果報告、12/24、1/17 開催の小委員会議事録が紹介された。2011 年 1 月 31 シンポジウム「建築環境・設備設計図書に関する学会基準」は参加者 27 であった。
- 2) 環境選択型空調設計（主査・委員不在） 資料 No.5-4-2
- ・ 2011 年度の活動成果報告、自己評価が紹介された。
- 3) 気象データ（代理：中山哲士） 資料 No.5-4-3
- ・ 2011 年度の活動成果報告、自己評価が報告された。
- 4) 次世代排水システム（主査・委員不在） 資料 No.5-4-4
- ・ 2011 年度の活動成果報告、自己評価が報告された。
- 5) 環境建築設計法（羽山主査） 資料 No.5-4-5
- ・ 2011 年度の活動成果報告、自己評価が報告された。
- 6) 「建築一体化設備のデザイン」出版小委員会（石野主査）
- ・ 原稿が集まり、現在編集作業・校正を進めている。
5. 2011 年度第 7 回建築設備シンポジウムについて：下記の意見があった。
- ・ 小委員会の報告を毎年行うのは苦しい。シンポジウムを実施している小委員会もある。
 - ・ 熱シンポジウムのように小委員会が担当を持ち回りし、1.5 日で実施する案もある。
 - ・ 2011 年度から 2 部制にしたので、もう少し継続すべき。
 - ・ 事例紹介にもう少し研究内容を加えてはどうか。
 - ・ 第 1 部と第 2 部をセットとし、小委員会と関連する事例を含める方法もある。
 - ・ 大林技研ビル、スカイツリー、ソニー開発センター、清水建設本社などタイムリーな物件を加える。
 - ・ 2011/10/20（木）建築会館で開催するよう会場を予約する。次回 4 月 27 日開催の運営委員会で素案を検討する。
6. 2011 年度建築設備運営委員会委員
- ・ 運営委員会の次年度委員変更について：次年度の主査：羽山、幹事：郡、柳井とする。
7. その他
8. 次回予定 2011 年 4 月 27 日(木) 建築会館

以上